

浜松市の進める子どもの権利擁護 ～官民協働の取り組みを通して～

1989年に国連で採択された「子どもの権利に関する条約」に、日本が批准してから30年以上が経過しました。この間、子どもの支援に携わる私たちは、同条約に示される「権利の主体者」として子どもたちと関わることができていたでしょうか。

昨年、こどもアドボカシーセンター浜松が設立されました。その設立準備段階において、市内の子ども関連支援者の間で意見交換が行われましたが、議論の中心は、子どものアドボカシー（子どもの「意見・意向を聴き」、その意見表明を支援すること）について、「私たちは、真に子どもの声（意見・意向）に耳を傾け、支援を行ってきたか」という問いでした。

本年度、浜松市では子どもの権利フォーラムが開催され、子ども条例の制定に向けた取り組みが進められています。

つきましては、今回、官民協働の取り組みについてご報告をいただき、改めて浜松市が進める子どもの権利擁護について考えてみたいと思います。

日時： 2026年3月19日（木） 19：00～21：00
（受付開始18：30）

場所： 福祉交流センター大会議室（参集形式）

費用： 無料

対象： 児童、障害、保育、教育分野、
その他子どもの支援に携わっている方、
子どもの権利擁護に興味のある方など



① 講義

「こどもの権利条例の整備に向けた浜松市の取り組み」

園田 俊士氏（浜松市こども若者政策課 課長）

「こどもアドボカシーにおける浜松市の取り組み」

藤田 美枝子氏（聖隷クリストファー大学こども教育福祉学科教授
こどもアドボカシーセンター浜松 代表理事）

② トークセッション（講師のお二人と）

司会 雨宮 寛（相談支援事業所アグネス 浜松市主任相談支援専門員会代表）

◇参加申し込み

<https://forms.gle/DNi1GxnxLFE2ryiW7>

ご氏名、ご所属、職種（資格等）ご連絡先（メールアドレス）を明記の上お申し込みください。QRコードからも申し込み可能です。

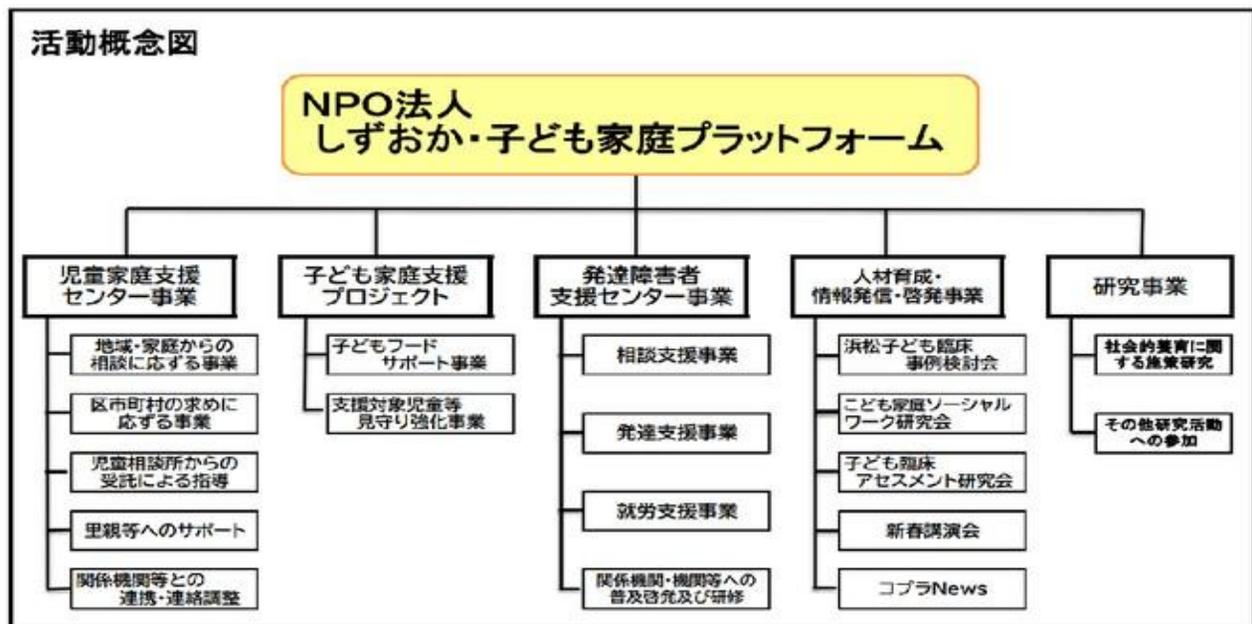
締め切り日2026年3月17日（火）迄

お問い合わせ先

kodomokateisw@gmail.com 事務局宛て

参加申し込み
QRコード





昨今、子どもや家庭をとりまく状況は複雑かつ困難となっています。その子どもや家庭にかかわる支援も同様に難しさを増しており、支援者が知識や理解を深めていくと共に、つながりも大切になっています。支援者の為に、強いては困難さを増す子どもや家庭の為にNPO法人しずおか・子ども家庭プラットフォームでは人材育成・情報発信・啓発事業としてこどもソーシャルワーク研究会、子ども臨床事例検討会を行っております。気軽に参加できる勉強会を開催しておりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

浜松子ども臨床事例検討会

- 村瀬 修
(しずおか・子ども家庭プラットフォーム)
- 山本 弘一
(JA静岡厚生連遠州病院小児科)
- 遠藤 ゆうな
(浜松医科大学精神科神経科)
- 遠藤 友也
(社会福祉法人和光会児童養護施設和光寮)
- 高橋 誠
(浜松市浜北障がい者相談支援センター)
- 藤田 梓
(独立行政法人国立病院機構天竜病院児童精神科)
- 山下さおり
(浜松市教育総合支援センター)
- 平野 明臣
(浜松市東障がい者相談支援センター)

浜松子ども家庭ソーシャルワーク研究会

- 雨宮 寛
(社会福祉法人小羊学園相談支援事業所アグネス)
- 平川 悦子
(浜松市教育委員会スクールソーシャルワーカー)
- 佐々木 正和
(聖隷クリストファー大学社会福祉学部)
- 亀井 崇史
(障害者就業・生活支援センターだんだん)
- 村上 巧
(医療法人社団至空会多機能型事業所だんだん)
- 青野 結衣
(独立行政法人国立病院機構天竜病院児童精神科)
- 富田 友樹
(株式会社アンド・アイ)
- 柴田 優希
(そんぽの家 浜松)
- 村瀬 修
(しずおか・子ども家庭プラットフォーム)
- 平野 明臣
(浜松市東障がい者相談支援センター)

当法人の活動にご賛同くださいます方は、下記アドレスまでメールをお送り下さい。
 NPO事務局よりご案内メールをお送り致します。
[メールアドレス sanaru-office@kodomoplat.org](mailto:sanaru-office@kodomoplat.org)

設立の趣旨にご賛同下さいます方は、会員としてNPOにご入会いただければ幸いです。
 現在は、**サポート会員を積極的に募集**しております。
 詳しいご案内はHPを御覧ください <https://www.npo-platform.com/>